

広報

ただみ

9
2009 月号
No. 472
平成21年9月10日



今月の表紙

真夏の太陽が輝き、プール日和の8月28日、只見小学校水泳記録会が行われ一生懸命ゴールを目指し泳ぎきる児童に、プールサイドの保護者から熱い声援がおくられていました。低学年の魚拾いゲームは児童に人気の競技。

只見の自然を世界に向けて発信!... 2~3

平成21年度只見町成人式 4~5

只見町文化財めぐりクイズツアー 6~7

町制施行50周年只見町協会長杯

ゲートボール大会 他 8~11

町の話 12~13

只見の自然を世界に向けて発信!

— 只見での研究成果を

地球環境保全の目標に—



▲生態系サービスの代表・ゼンマイ採り

▼つくば市の森林総合研究所では、平成20年度から3か年計画で只見町を調査地として、「森が人の生活にもたらす恵み（生態系サービス）」についての研究を進めています。

▼来年は、国連の定めた「国際生物多様性年」の年にあたり、「生物多様性条約締約国会議」という重要な国際会議が日本で開催されます。

▼今後、日本が担うべき責任を果たすにあたって、只見での研究成果が一つのモデルとなることをめざしています。

▼この中間発表となるシンポジウムが、来年1月23日、森林総合研究所の協力により只見町で開催されます。

▼プロジェクトがどのようないきさつで始まり、どのような目標に向かって進もうとしているのかについてご紹介します。

●地球環境問題としての生物多様性

1992年、ブラジルのリオデジャネイロで地球環境問題に関する国連主催の会議が開かれました。地球環境の大切さ、問題の深刻さが大きくクローズアップされた非常に大規模な国際会議でした。この会議でもっとも重要視されたのが「生物多様性」と「地球温暖化」です。それ以来、世界ではこの二つが地球環境の大きな課題として認識されています。しかし、地球温暖化に比べて生物多様性は今ひとつ関心が高まりません。それは、温暖化が比較的感受しやすいのに対し、生物多様性とは何か、なぜ大切なのか、がわかりにくいからでしょう。

●生物大量絶滅の危機

生物多様性はかなり漠然としたものであると正確に測ることはできません。想像を超えるほど多くの種が存在するだけでなく、微少なバクテリアからクマやカモシカなどの大型動物に至るまで、到底ひとくくりにはできないほど様々な生物がいるからです。しかし、一つの地域に住み続けていて、渡り鳥の数や川の魚が大幅に減るなど、全

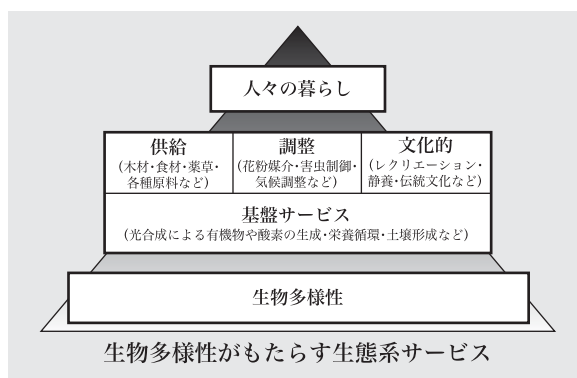
体として多様性が失われてきているということは実感できません。恐竜最期の時代以来の大量絶滅と言われることもあり、いざいざにせよ、絶滅速度が急速であるのは間違いないでしょう。そして、生息環境の破壊や在来種を駆逐する外来種などの影響によって、世界中で絶滅が危惧される種が急速に増えていることに対する危機感から、多くの国々で対策が取られています。

●生態系サービスとは?

私たちの生活は、多様な生物からなる生態系の働きの上に成り立っています。人がその働きによって受けている恩恵は「生態系サービス」と呼ばれています。これまで生物多様性という言葉は、多くの場合、絶滅が危惧される生物種を保護するという目標を念頭に使われてきました。最近では、なぜ生物多様性を守るべきなのか、その意義をよりはっきりさせなければならぬという認識が強くなり、生態系サービスに対する関心が高まってきました。森林の生態系サービスには、供給サービス（木材、食料としての山菜やきのこ、葉草、さまざまな原料などの供給）、調

整サービス（森林に生息する昆虫等による花粉媒介、多様な種

の存在によって特定の害虫の発生が抑えられるような働き、気候調整など）、文化的サービス（釣りや散策などの楽しみや静養、伝統工芸などへの寄与）、基盤サービス（これらのサービスを支える生物の営み、たとえば光合成による有機物や酸素の生成、栄養循環、土壌形成など）が含まれます。



かつては日本中のいたるところで、これらすべての森林生態系サービスが十分に活用されていたと言えるでしょう。しかし、人と森の関わりが薄れつつある現代、とくに供給サービスは人々の生活から離れていきました。こうした中でも只見町の森林は四季にわたって、日常生活にお

いて豊かな恩恵を与え続けている数少ない地域の一つです。今回のプロジェクトが只見町をもっとも重要な地域と位置づけしている理由はそこにあります。

●「ポスト2010年目標」に向けて

折しも2010年には、名古屋で第10回生物多様性条約締約国会議（COP10）という大規模な国際会議が開かれることになりました。政府の関係機関がその準備を進めるかたわらで、

非政府機関や研究者の集まりが政府に対する働きかけを進めようとしています。この会議では、

今後の目標となる生物多様性についての国際的な取り決めについて議論され、「ポスト2010年目標」の採択が行われます。そこでは、生物多様性がもたらす生態系サービスがかなり重要なテーマになると予想されます。しかし、この分野の研究は日本では蓄積がきわめて少ないのが現状です。他の欧米先進国に比べて人が森林と身近に接し、利用する機会に恵まれているにもかかわらず、残念なことです。そこで、森林総合研究所が中心となり、「生態系サービス」に関するプロジェクト立ち上げの準備をした結果、環境省から比較

的大きな研究資金を得ることができました。これがきっかけで、その研究成果を世界に向けて発信することを目指しつつ、多くの町民の皆さまの協力を得ながら、プロジェクトが進められることになりました。「ポスト2010年目標」がどのようなものになるか、まだ定かではありませんが、生態系サービスについての研究成果がこの目標達成の度合いを測るための基準や指標に対してヒントを与えるようなものにしてほしいと考えています。

●只見の森がもたらす恵みについての研究

スギ、ヒノキ、カラマツなどの大規模な拡大造林が全国的に行われてきたにもかかわらず、南会津地域ではブナを中心とする広大な天然林が残っています。そこで、プロジェクトの目標として、第一に、天然林が生態系サービスの維持活用に大きな貢献しているのを確認しようとしています。第二に、野焼きや小規模な伐採などが古くから行われてきましたが、そうした人の森林への働きかけが無くなってきたことの影響を明らかにしたい、という目標があります。第三に、地域住民が主体となって利用と資源の保護を図ってきた、まさ

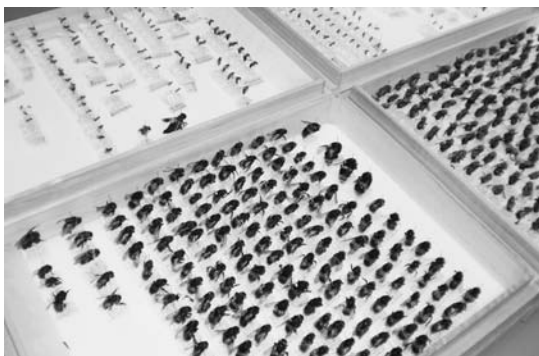
に只見町内の各集落で維持されてきた仕組みの重要性を来年のCOP10を機会に世界にアピールすることです。また、欧米では森林を利用する地域と原生的な状態を守る地域との間に明確な線引きをしようとする傾向があります。利用と保護が混然となりながらも、生態系サービスは持続的に活用されてきたこともアピールしたいと考えています。

このプロジェクトを進めるために、植物、昆虫、魚などの専門家のほか、社会科学の専門家も入り、生物の調査だけでなく、アンケート調査や森林利用の調査も行っています。今年もGPSという器械を町民の方々に付けてもらい、どのような環境で山の幸が豊富に採れるか、どれだけの量がとれているか、といったことを調べています。また、

アンケート調査では、どの時期にどの程度の頻度で山に出かけるか、資源を守るためにはどうしたらよいか、といったことをお尋ねしています。これらのデータをもとに山の幸がもたらす経済価値も計算する予定です。また、これらの動植物がどのような環境に多く生息しているかを調べています。その結果をもとに、森林をどのように維持管理すればよいか、明らかにしよ

うとしています。

関東地方など、他の地域との比較もしています。人工林に比べて天然林が生態系サービスを支える生物にとってより良い生息環境を与えていること、人の利用に関しても天然林の方がより多様で、さかんに利用されていることなどが明らかになりつつあります。また、ソバ畑やリンゴ園などでの調査から、森林に生息する昆虫が花粉媒介や害虫のコントロールに貢献していることも少しずつ明らかになってきています。



▲町内で採集されたハナバチの仲間

●シンポジウムの開催

只見町の調査では、多くの町民の方々からご協力をいただいた

ています。調査地の設定、データの収集など、積極的な協力がなければできないことばかりです。そこで、森林総合研究所が、今回のプロジェクトでどのような成果が得られたか、できる限り多くの方々に知っていただくために、シンポジウムを開催していただくことになりました。来年、1月23日に町内で開く予定ですので、ぜひご参加ください。

●只見町から世界にむけて発信

日本が果たすべき大きな役割は、「ポスト2010年目標」達成に向けて責任を持って活動していくことだと言われています。このシンポジウムは、只見町の豊かな生物多様性に関して行った研究成果を、この目標に向けてどのようにして貢献させていくか、議論していく良い機会です。これから町民の方々や南会津の森林に関わる仕事をされている方々と話し合っていく予定であるということです。

さらに、今年、来年と、朝日地区をはじめ、町内各所でアンケート調査が行われる予定です。生物関係の調査も含めて、引き続き町民の皆さまのご協力をよろしく願います。

平成21年度 只見町成人式

「夢と希望・誓いを胸に成人の仲間入り」



目黒町長から成人証書

平成21年度只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、成人者47名のうち44名が出席、新たな思いを胸に新成人としての第一歩を踏み出しました。

成人式では、目黒町長が式辞で「豊かな感性と柔軟な発想、将来に向けた情熱と熱意で人生を歩み、夢の実現に向かって努力してください」と述べました。続いて行われた成人証書授与では、目黒町長から新成人一人ひとりに成人証書が手渡されました。

来賓による祝辞では「力を合わせ元気な町づくりに才能を発揮してください。次世代を担う若者として頑張ってください」などと、新成人への期待が述べられました。

先輩からのメッセージでは、こぶし苑に勤務する藤田久幸さんと、湯ら里に勤務する堀金健さんのふたりが新成人に熱いメ

ッセージを贈りました。

また、家族から贈られた成人を祝う手紙が手渡され、読み始めた新成人からは笑顔が消え、目頭をおさえる姿も見られるなど、改めて家族に対する感謝の気持ちで胸がいっぱいになっている様子でした。

最後に新成人を代表して馬場景子さん（塩ノ岐）が「この成人式での感動を忘れず、これからの人生において精一杯努力します」と謝辞を述べました。

成人式が始まる前や終了後は、会場内や湯ら里の玄関前にたくさん話の輪ができ、友達同士で近況を伝えあったり、昔話で懐かしそうに盛り上がっていました。

- ①成人証書を受ける新成人
- ②謝辞を述べる馬場景子さん
- ③家族からのメッセージを読む新成人



①



③



②



成人おめでとう



山内隼人さん
やまうち はやと
(布沢)

← 左から2人目

只見町の成人として立派な人間になりたいと思います。
只見町職員になることが目標です。
今は、サークル活動で映画撮影などを楽しんでいます。

新

成人からひとこと



山内 彩さん
やまうち あや
(小林)

← 左から2人目

美容学校を卒業し、国家資格を取得することが目標です。
将来は実家の美容店を継ぎたいと思います。
カラオケが大好きで、よく友達と行きます。



藤田久幸さん
ふじ た ひさゆき

只見町介護老人
保健施設こぶし苑勤務

目標をクリアするとその先に目標が出てきます。今ある目標の先のさらに先を見て頑張ってください。
親の存在を大切に感謝して親孝行をしてください。
夢を常に持って後悔のない日々を送ってください。

先

輩からのメッセージ



堀金 健さん
ほりかね たける

季の郷湯ら里勤務

責任の重みが出てきます。この節目を機会に気持ちを切り替えて、自分を磨いてください。技術や能力を育てるため、自分から行動を起こして、より多くのことを学んでください。
この町の将来をみんなで築いて行きましょう。

どのくらい知ってる？ 町の文化財



只見町の文化財などを見学しながらクイズで内容を知ろうという催しが、町教育委員会主催で8月11日に行われました。

参加者は町内小学生と保護者や一般町民で合わせて24名、講師に「只見の自然に学ぶ会・新国勇さん（只見）」を迎え、成法寺観音堂や会津只見の生産用具と仕事着コレクション、石伏旧若宮八幡神社の大クリ、河井継之助記念館などを見学しながら、現地では各文化財にちなんだクイズが出題され、参加者は新国勇さんの説明を聞き真剣に答えを選んでいました。

全問正解者にはプレゼントがあるということで小学生からは多くの質問があり、積極的に文化財の詳細を学んでいました。

参加者からは、町の歴史や文化に楽しく触れることができ、また町には数多くの貴重な財産が存在することを改めて認識できました。との感想も聞かれました。

今回のツアーで出題されたクイズを紹介します。さあ、皆さんは全問正解できますか？チャレンジしてみてください。

（正解は18ページ左下に記載してあります）



▲よ〜く考えて……



▲大クリをバックに



▲ゴールは、河井記念館

只見町文化財めぐりクイズ

成法寺観音堂	○只見町には、国の宝（重要文化財）はいくつあるでしょう？ ア. 1つ イ. 3つ ウ. 5つ	<input type="text"/>
	○只見町には、県の宝（重要文化財）はいくつあるでしょう？ ア. 3つ イ. 5つ ウ. 7つ	<input type="text"/>
	○「成法寺観音堂」は、いまから何年前に建てられたでしょう？ ア. 700年前（鎌倉時代） イ. 400年前（室町時代） ウ. 250年前（江戸時代）	<input type="text"/>
窪田遺跡	○「聖観音菩薩坐像」は、いまから何年前につくられたでしょう？ ア. 700年前（鎌倉時代） イ. 400年前（室町時代） ウ. 250年前（江戸時代）	<input type="text"/>
	○窪田遺跡から動物の骨が出ています。それは次のうちどれでしょう？ ア. ニホンジカ イ. ツキノワグマ ウ. イノシシ	<input type="text"/>
民具	○窪田遺跡は、なにが重要なのでしょうか？ ア. 家のあとがいっぱいある イ. お墓がある ウ. <小豆>・耳かざりがいっぱい	<input type="text"/>
	○町が集めた民具は、ぜんぶでいくつあるでしょう？ ア. 約5,000点 イ. 約8,000点 ウ. 約12,000点	<input type="text"/>
大クリ	○国の宝（重要文化財）になった民具は、いくつでしょう？ ア. 2,333点 イ. 4,532点 ウ. 6,112点	<input type="text"/>
	○このクリの幹回りは、何メートルあるでしょう？ ア. 4.80メートル イ. 5.20メートル ウ. 7.50メートル	<input type="text"/>
	○只見の山は、なぜ急なのでしょうか？ ア. 岩石が風化しやすいから イ. なだれでけずられるから ウ. 火山活動がはげしかったから	<input type="text"/>
五嵐豪	○雪食地形は、つぎのうちどこが有名でしょう？ ア. カナダ イ. フィンランド ウ. 日本	<input type="text"/>
	○長谷部家住宅と五十嵐家住宅では、どっちが古い？ ア. 長谷部家住宅 イ. 五十嵐家住宅 ウ. どちらも同じ時期	<input type="text"/>
河井記念館	○河井継之助はどこの藩の人でしょう？ ア. 会津藩 イ. 長岡藩 ウ. 薩摩藩	<input type="text"/>
	○戊辰戦争のとき只見に攻めてきたのは次のうちどれでしょう？ ア. 東軍（旧幕府軍） イ. 西軍（新政府軍） ウ. 会津軍	<input type="text"/>

只見町文化財めぐり クイズツアー

「只見は宝の町!?!」



～講師～
新国 勇さん
(只見)



▲たのしく学ぶ参加者

只見町には、全国に誇れる宝物がいっぱいあります。文化財では、国指定が3件、県指定が7件もあつて、周辺の町村と比べて群をぬいています。日本一には、ブナ天然林、ユビソヤナギ、クロホオヒゲコウモリ、雪食地形、巻物、山の数などがあつて多種多彩。わたしたちがそれに気づいて感動するだけで、町は活気づきます。子どもからお年寄りまで、「おらの町が日本一」と自慢できるようになれば、世界じゅうから人が集つてくると思っています。



会津只見考古館

県指定史跡の窪田遺跡から発掘された土器や石器をはじめ、土偶や首飾りなどを中心に只見町の考古資料を展示。全国的にも珍しい、住居近くに位置する「再葬墓」の復元模型や竪穴式住居も復元されています。



会津只見の生産用具と
仕事着コレクション

稲作や畑作、狩猟などのために使っていた民具7500点以上が、「只見方式」と呼ばれる町民主体の民具整理によって保存されています。このうち2333点は、国重要有形民俗文化財に指定されています。

只見町の 歴史探訪



石伏旧若宮
八幡神社の大クリ

根回り8.5m、幹周り7.5m、直径2.7m、樹高18mもあるクリの巨樹。重厚な幹が立ちあがり、地上5m付近で大きく3本に分かれています。屋久杉のように神秘的で威厳があります。



成法寺観音堂

和様と唐様をとりまぜた端正な建造物。1512年の巡礼札から室町時代後期の建築と考えられます。寺の創立は仏像の銘から鎌倉時代末期と考えられます。仏像は県指定の文化財となっています。



河井継之助記念館

只見町で最後を遂げた長岡藩家老河井継之助に関する資料や、ゆかりの品物、終えんの間を保存展示しています。記念館の隣には 継之助の墓(医王寺)や、製塩を行っていた当時の資料を 展示した山塩資料館もあります。



旧五十嵐家住宅・
旧長谷部家住宅

旧五十嵐家住宅
約300年前築のこの地方の本百姓の家屋で、国の重要文化財指定。
旧長谷部家住宅
江戸時代の八十里越関所。奥会津地方最大規模の厩中門造りで、福島県の重要文化財。

今回のツアーで見学された文化財です。ご存知ですか？
只見町には、左に載せたもの以外にもたくさん文化財があります。皆さんで、守り伝えていきましょう！

町制施行50周年を祝い…

只見町 協会長杯 ゲートボール大会

時折、雨のばらついた8月8日、季の郷湯ら里前のコートで只見町協会長杯ゲートボール大会が開かれ、8チーム47名が参加されました。

はじめに齋藤昭夫只見町ゲートボール協会会長よりあいさつがあり、続いて目黒町長が「日頃の練習の成果を発揮され時には熱く興奮されながら楽しくプレーしてください。健康づくりのためにも元気で今後も続けて欲しいと思います。優勝目指し頑張ってください」と祝辞を述べました。その後、目黒町長、鈴木好行只見町体育協会副会長、目黒仁也湯ら里支配人の3名による始球式が行われ、競技がスタートしました。

1チーム5名で熱戦が繰り広げられ、参加者は真剣なまなざしでゲートに狙いを定めボールを打っていました。コートには仲間のプレーを指示する大きな声や笑い声、歓声が響きわたり白熱した試合の連続となりました。表彰式は、むら湯の休憩室で行われ、町制施行50周年の記念大会で見事、優勝杯を手にしたのは「明和チーム」となりました。

最後に懇親会もあり、賑やかに親睦を深められました。



▲大きなゲートに狙いを定め始球式



▲勝利を目指し第一打を放つ選手



▲第1回企画実行委員会であいさつをする目黒町長

8月27日、役場本庁でこの冬の雪まつりの内容を検討する、企画実行委員会が開かれました。雪まつり実行委員会長の目黒町長はあいさつで「社会状況の変化が著しく財政が厳しい中、東北ナンバーワンの雪まつりを維持している。まず現状の課題を整理して、魅力を付け加えて新たな一歩を踏み出してほしい。委員の率直な意見交換をお願いしたい」と述べました。

1回目の会議では、これまでの雪まつりを振りかえり「もっと町民参加型にしてはどうか」「さらにみんなが楽しめるように」など、意見が出されました。企画実行委員会では、10月下旬に予定されている雪まつり実行委員会（全体会）に提案するため、今後3回程度の開催を予定しています。企画実行委員は次の11人の方々です。

第38回只見ふるさと雪まつりがスタート 第1回企画実行委員会

只見ふるさとの雪まつり ●企画実行委員名簿

団体名	委員氏名
電源開発(株) 田子倉電力所 所長	仲丸 郁夫
只見町旅館業組合組合長	菅家 和人
只見祭好会代表	新国 秀一
Club Wild Fox 代表	五十嵐 博之
只見町商工会青年部代表	目黒 道人
明和地区区長連絡協議会会長	目黒 友美
只見婦人会長	五十嵐 理子
雪ん子市出店者	小沼 信孝
厄男代表	吉津 健
只見町観光 まちづくり協会事務局	目黒 典子
ただみコミュニケーションクラブ 事務局長	平山 康夫

(順不同、敬称略)

『古代人の暮らしを体験』

まほろん出前講座



たいけん かつどうしつ
まほろん体験活動室メニュー
 ☆平成21年9月～平成21年11月☆

9/8(火)～9/27(日)	★アングイン編みに挑戦しよう ★勾玉・管玉づくり
9/29(火)～10/12(月)	★ガラス玉をつくろう ★勾玉・管玉づくり
10/14(水)～10/25(日)	★火おこしに挑戦しよう (無料) ★勾玉・管玉づくり
10/27(火)～11/6(金)	★獣脚ろうそくづくり ★勾玉・管玉づくり
11/7(土)～8(日)	★ふいごを踏んでみよう ★勾玉・管玉づくり
11/10(火)～11/23(月)	★土器づくり ★勾玉・管玉づくり

《お問い合わせ》まほろん 福島県文化財センター 白河館
 〒961-0835 福島県白河市白坂一里段86
 TEL 0248(21)0700/FAX 0248(21)1075
 URL <http://www.mahoron.fks.ed.jp>



▲暑かったけど、おもしろかった「火おこし」

会津只見考古館を会場に「まほろん（福島県文化財センター白河館）出前講座」が8月18日に行われ、町内小学生と保護者、小学校の先生など約30名が参加しました。

参加者は、まほろんの先生の説明を聞きながら、直接指導を受けたり質問したりして古代の暮らしには欠かせない火おこし、弓矢そして、縄文クッキーづくりなどを体験しました。

この日は日差しが強く真夏の暑さでしたが、汗を拭くのも忘れ本気で火をおこしていました。午前中に作ったクッキーを、おこした火で焼き昼食に食べましたが、おいしいと評判が良く、



▲最後にみんなで記念撮影



▲夢中になった「弓矢体験」

あつという間になくなりまし
 午後には弓矢を体験し、矢が
 上手く前に飛ばなかつたりの
 で届かないなど、道具を扱う難
 しさや狩りをする大変さを学
 んでいました。

参加者は現代の生活では考
 られない貴重な体験をしながら
 充実した一日を過ごしました。
 まほろんでは随時、体験活動室
 を開いています。ぜひ、参加し
 てみてはいかがでしょうか。

参加者は雨の中、両県から県境に向かって道沿いや駐車スペースに落ちていたゴミを拾い、きれいな景色にふさわしいゴミのない道路にと一生懸命清掃作業を行いました。

作業の後は、田子倉湖の名所「アイヨシの滝」で、交流会が開かれ、両県の更なる連携強化を約束していました。

7月9日、福島県と新潟県の関係団体から64名が参加し、国道252号六十里越雪わり街道清掃活動が行われました。

福島県側は国道252号六十里越雪わり街道を愛する会の会員と、山口土木事務所職員など35名が参加、只見町からは建設業や、商店、旅館、民宿などの経営者が参加しました。また新潟県側から、ルート252と魚沼市を考える会の会員、魚沼地域振興局職員など29名が参加しました。

東北屈指の観光ロードを
 うつくしく
国道252号
「雪わり街道」
清掃ボランティア

未改良区間の改良と雪対策への取り組みを

県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会

7月22日、平成21年度県道小林・館ノ川線改良促進期成同盟会総会が開催されました。会長の目黒町長のあいさつに続き、南会津建設事務所鈴木隆所長が祝辞を述べられました。

今年度事業計画を「未改良区間の改良工事促進・雪崩発生箇所の防雪工事早期整備と除雪計画の整備促進」などと定めて活動を展開することとしました。

次に、山口土木事務所から平成21年度事業概要説明が行われ、荒島・熊倉区間の落石防護柵設置の整備と、それに関連した事業実施の説明がありました。また、夏場でも車のすれ違いができない区間や除雪要望区間を地元区長や町役場担当者などと現地調査を行い、可能なところから整備をしていきたいとの説明がありました。さらに、冬期間交通不能となる小川・一ノ坪間と荒島・熊倉間の早期除雪について、地元区長から強い要望がありました。



▲ 道路改良要望区間(1.3km)



▲ 現地調査をする地元区長ら関係者

只見地区区長連絡会が福島県南会津建設事務所長に要望書を提出



▲ 要望書を提出する目黒彰一只見区長(右)

を行い、早期に改良を行うとの回答でした。(※検討に際しては、地域住民との協議を行います)
② 国道252号道路側溝蓋掛けについて
 昨年度、八木沢から下筋の要望を行ったところ、八木沢地区並びに塩沢地区と蒲生地区の一部が改良されました。今年度は、未整備区間と宮測地域を追加して要望しました。

要望の結果として、昨年度要望分については順次実施していきたいとの回答でした。宮測地区については、今後現地確認し対応しますとの回答でした。

只見地区区長連絡会(会長・目黒彰一只見区長)では、今年度の総会で決議された次の2点について、8月19日に福島県南会津建設事務所長へ要望書を提出しました。

【要望内容】

①常盤橋の隅切り等による安全確保対策について

昨年度からの継続要望となりますが、今年度、南会津建設事務所長並びに山口土木事務所長が新任となられ、顔合わせも兼ねて再要望しました。

要望の結果として、今年度内に改良実現に向けての検討協議



▲ 常盤橋と町道交差点の状況



▲ 小野保順所長から知事賀寿を贈られる吉津さん

百歳賀寿おめでとう
吉津秀子さんが満百歳を迎えます

8月27日、長浜の吉津秀子さんが満百歳の誕生日を迎えられ、知事賀寿贈呈式が特別養護老人ホーム只見ホームで行われました。

はじめに小野保順南会津保健福祉事務所長から知事賀寿と記念の木杯が贈られました。続いて、目黒町長、酒井右一只見町議会議務厚生常任委員長、五十嵐辰男只見町社会福祉協議会会長、関谷一只見町老人クラブ連合会長、吉津庸長浜老人クラブ会長らから記念品等が贈られました。孫の加藤悦さんお祝いの花束を、ひ孫の加藤桂子さんと山田龍太さんからは、記念品が手渡されました。

消火活動の基本動作を確認・習得

朝日地区 総合防災訓練



▲ 火点をめがけ放水する
女性消防団員

ポンプ操作などの
訓練を受ける消防団員

特に火点から水利が遠い場合のポンプ中継動作や伝令は重要で、南会津広域消防署の指導も受けながら詳細に訓練が行われました。最後に南会津広域消防署との連携操作について説明を受けながら、実際に放水し操作を学び訓練を終りました。



季の郷湯ら里からの出火を想定し、8月23日に朝日地区総合防災訓練が湯ら里周辺で行われ、消防団員、ポンプ車、ポンプ積載車などが出動しました。
今回の訓練は、ポンプの操作方やホースの連結、水利が近くない場合の中継動作など、様々な水利条件における放水までの基本動作を確認し、把握することを目的に行われました。
参加した消防団員は、防火水槽や消火栓、排水路、池などの水利からそれぞれの状況に対応した機械器具の使用法やポンプの送水圧の調節などの動作を再確認していました。

目標は初戦突破!

市町村対抗野球 只見チーム始動!



▲ 只見町チームのメンバー

第3回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場する只見町チームが「初戦突破」を目指し、練習に汗を流しています。過去2回の出場成績はいずれも初戦で惜敗。今年こそは、初戦の勝利を目標に気合いを入れ、練習に励んでいます。

メンバーは町内の野球チームから有志を募り、只見町出身の町外で活躍する選手3名を加えた27名。練習は毎週月、水曜日の午後7時から町下グラウンドで行っています。

今大会の只見町チームの初戦は10月11日、午前8時から福島市あづま球場で福島市と対戦します。

町民の皆さんの熱いご声援をお願いします。

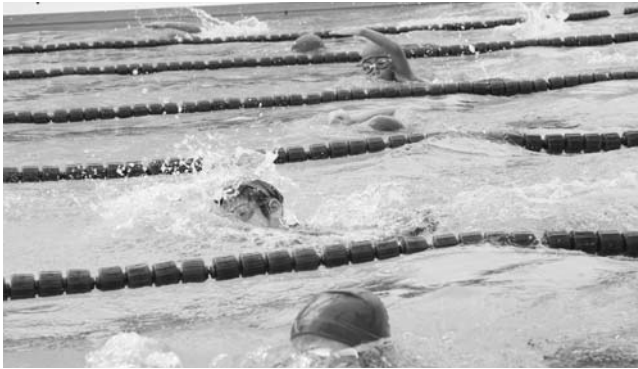
歴史の道を歩こう

史道「八十里越」の踏査

八十里越踏査が8月9日に「希望と歴史の道・八十里越を歩く会」主催により行われました。参加者20名は午前4時30分に只見地区センター前に集合、そこから新潟県三条市の吉ヶ平に向い出発、午前7時過ぎに峠道を歩き始めました。
60代後半から20代前半の町民の方が踏査を試みました。
当日は、出発時には曇り空であったのが、途中で雷や大雨に遭い、厳しい踏査となりました。参加者は歩きながら八十里峠や河井継之助に関する歴史などにも触れ、歴史の道の踏査を楽しみました。
終了後には、反省会も行われ皆さんで感想を話しながら歴史の道について語り合いました。
参加者からは来年も、6月上旬頃に行いたいとの要望が出されました。



▲ 史道「八十里越」の踏査を喜び参加者

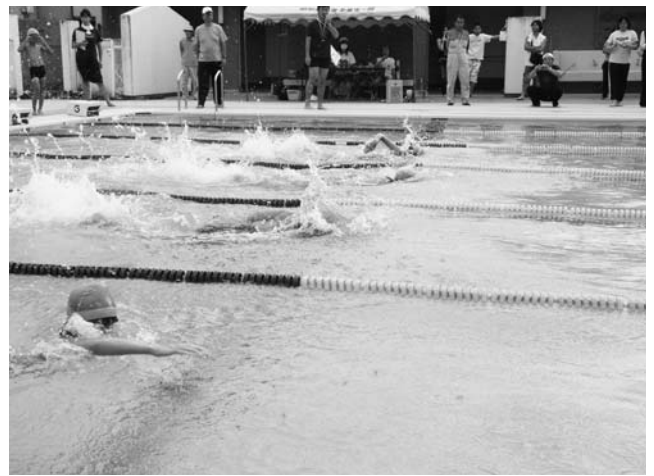


▲ 明和小学校（9月2日）

自 町内小学校水泳記録会
己記録の更新目指し華麗な泳ぎ



▲ 只見小学校（8月28日）



▲ 朝日小学校（9月2日）



▲ 前田剣豪会の皆さんが墓前で剣舞を披露

没 河井継之助墓前祭
後141年に遺徳を偲ぶ

没後141年の命日にあたる8月16日、塩沢の医王寺で河井継之助墓前祭が執り行われました。主催者の塩沢観光協会長岩淵正明さんが「墓前祭を始めて20年以上になりますが、これからも墓前祭を続け、全国に広めたいと思います」とあいさつを述べました。読経、目黒町長の追悼の言葉と参列者の焼香に続いて、長岡市の前田剣豪会の皆さんによる剣舞が披露されました。その後、塩沢公民館で河井継之助を語る会が開かれました。

年 福祉の里盆踊り大会
に一度の盆踊り、笑顔の輪が幾重にも

8月20日、長浜の福祉の里で盆踊り大会が行われました。こぶし苑、あさひヶ丘、只見ホームに入所している人たちやそのご家族、町内の各種団体や只見高校ボランティア部、各施設の職員、町民の方々が参加して、幾重にも踊りの輪をつくり盆踊りを楽しみました。お囃子は只見中学校の皆さんと明和地区老人クラブの皆さんが担当してくれました。会場内は仮装踊りが出るなど盛り上がり、入所者の皆さんもご家族や町民の方々とお話をしながら、心待ちにしていた盆踊りを満喫しました。



▲ お囃子が終わるまでにぎやかに踊る参加者

見 第32回県少年野球選手権大会 事、只見中スポ少Aが第3位に



▲ 第3位に輝いた只見中スポ少Aのメンバー

紅獅子旗を懸けた県少年野球選手権大会が8月8～9日、本宮市などで行われ、只見中スポ少Aが見事、第3位になりました。9日の準決勝では安積中Aと対戦し惜しくも敗れましたが、参加414チーム中の第3位はすばらしい成績です。この大会は県内7地区の予選を勝ち抜いた16チームがトーナメントで優勝を争いました。只見中には賞状や銅メダルなどが贈られました。



▲ この出逢いを大切に…

大 出逢いふれあいフェスタ 自然の中で和やかに交流

7月4～5日の2日間、裏磐梯高原で出逢いふれあいフェスタが行われ、只見町の男性13名と県内外の女性14名が参加しました。初日はデコ平をゴンドラに乗り散策、さらに陶芸体験やキャンプファイヤー、コンサートなどで交流しました。翌日は五色沼や檜原湖でボートに乗りふれあいました。

自由行動では、気の合う人とメール交換する光景も見られ、最終的に3組のカップル誕生となりました。このイベントはNPO法人ふれあい交流縁結び隊（会長目黒良樹さん）の主催で開催されています。



▲ 精神を集中して矢を放つ参加者

楽 スポーツ吹矢体験教室 しみながら健康になれる！

8月22、29日に町下町民体育館でスポーツ吹矢体験教室が開かれ、小学生から大人まで約20名が参加しました。日本スポーツ吹矢協会公認指導員の方が吹矢を正しく修得するための基本動作を一人ひとりに丁寧に指導し、参加者は約8メートル先の的に狙いを定め、腹筋を使い一瞬に吹く吹矢式呼吸で矢を放っていました。誰でも気軽に楽しみ健康にも効果的なスポーツとして人気が高まっています。

猛 明和地区お盆野球大会 暑の中、猛打爆発で爽快な汗

8月16日、明和地区恒例のお盆帰省者歓迎野球大会が明和小学校グラウンドで盛大に行われました。明和全集落から7チームの参加があり、熱戦に続く熱戦で多くの試合がジャンケンによる勝敗決定という高レベルでの実力均衡戦でした。見事優勝したのは梁取チームでした。最高気温36℃という夏空のもと、明和地区皆さんの元気なパワーみなぎる楽しい一日でした。



▲ 帰省者も懐かしい想いを胸にプレー

ヴィッキーの にっぽん紀行

Vol.9

Victoria・Potter

ウィクトリア・ポッター
・1980年生まれ。英国ノーリッチ出身。
・2008年8月から町英語指導助手。



こんにちは皆さん。皆さんがこの夏を楽しく過ごしていることとお喜び申し上げます。今年度、この只見の地は去年に比べて涼しいように思います。

7月の半ば、私は福島県内に勤める30名のALTと共に富士登山にチャレンジしました。私たちは夕方7時に、5合目から登り始め7合目で小休止と軽食をとりました。夜10時に再出発し、目的の「ご来光」に向けて登り始めました。登る速さは多くの人が一緒のため、スローペースでした。私は、十分な水分とナッツやチョコクレートなど高エネルギーの食べ物を持ち、脱水症状や高山病の予防も十分に行いました。雨に降られなかつたことは幸運でしたが山頂に近づくと寒さが増してきました。私はスノーボー用のウェアとズボンを着用し、さらにインナーを着こみましたがそれでも寒さを感じました。

最終的に私たちは5時30分(日の出の少し後)に登頂を果たしましたが、山頂は雲に覆われており「ご来光」を気にする必要もありませんでした。山頂はまるで濃い霧に覆われたようで、火口すら見えませんでした。ご来光をみられずがっかりしましたが、この過酷な挑戦をやり遂げた思いがしました。唯一の問題は、長い時間かけて一度山頂に着くと、その道を再び戻らなければいけないことです。登山の後には下山が待っています。この夏の間、私は愛知県岡崎市に4週間、日本語の勉強に行くことができました。このように長い期間勉強する機会を与えてくれた只見中学校、只見町教育委員会、南会津広域圏の方々に感謝いたします。到着後実力別のクラス分けをするための筆記と口頭の試験を行いました。毎日、文法説明・ワードテスト・会話練習・ロールプレイやお互いのインタビューを行

いました。また、それぞれの週の終わりに全員筆記とインタビューのテストを受け、4週間の最後には同じコースの生徒と先生方にお別れのスピーチを行いました。愛知県で学んだ4週間はとても有意義なものでしたが、まだゆつくりしか話せません。そして話をする前にあらかじめ話すことを考える時間がないと緊張してしまいます。私を担当した先生は、いつ

もリラクセスするよう言いました。が、未だそれは身についておりません。会話が上達するために今の私にできることは、どんなにみじめな間違いをしようと、または、どんなに緊張しても、徐々に慣れていくことで不安も失敗も少なくなっていくのだと思います。私にはまだ学ばべきことがたくさんあります。今のところ、私が日本語で理解できることややる

ことは、あまり多くありません。一つの言語を習得するためには多くの時間と学習を継続することが必要です。今週、生徒が学校に戻ってきました。彼らが充実した夏を過ごし、再び顔を合わせる事ができることをうれしく思います。(訳・只見中・平野)

広報ただみ診療所 インフルエンザ

朝日診療所 医師 高柳宏史

こんにちは、朝日診療所の高柳です。今回の診療所だよりは最近さらに感染が拡大してきているインフルエンザの予防・対策についてお話しさせていただきます。

こういったインフルエンザなどの感染症の場合、感染の拡大を防ぐには診療所の医療スタッフの力ではどうすることもできません。一番重要な事は住民の方

一人一人が感染しないようにできることを徹底し、また感染された方はさらに広げないように心掛けることです。

お願いすることは「手洗い・うがい」、「咳エチケット」、「正しいマスクの利用方法」、さらに「日常生活での注意点」です。

インフルエンザの感染経路は目、鼻、口にウイルスが付着することで感染することが知られています。咳やくしゃみによりウイルスがテーブルにつき、そのテーブルを触れた手で物を食べる

事や、鼻や目をこする事でも感染してしまふと考えるとよいでしょう。

「手洗い・うがい」については石鹸と流水で30秒をかけて洗い、1日10回以上手洗いを行います。特にマスク着用の場合にはマスクの着脱後や、咳やくしゃみの後も手洗いが推奨されます。

「咳エチケット」は咳やくしゃみをする時にティッシュで鼻や口を覆うことです。さらにその時使用したティッシュはすぐに捨ててください。さらにその後には手洗いをしましょう。もしティッシュがない場合は袖や手で鼻と口を覆うようにしてください。さらにその服はなるべく早く洗濯するようにしてください。

「正しいマスクの使用法」についてですが、①使用中はマスクに触れることを避ける、②マスクが湿ってきたらすぐに新品の乾燥したマスクに交換する、③

使い捨てマスクの再利用は行わない、④マスクに触れた後や、外した後は手洗いを行う。の4つです。

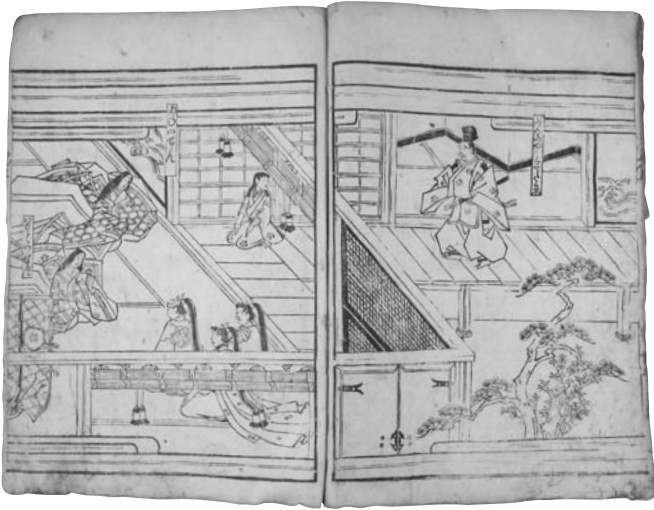
最後に「日常生活上での注意点」ですが、人ごみの中にいる時間をできるだけ減らし、インフルエンザ様症状のある方とは少なくとも1メートル以上の距離を保つようにしましょう。さらに口と鼻を触る事をなるべく控えるようにしましょう。そして、インフルエンザ様症状がないか、毎日自分やお子さんの健康チェックを行うようにしてください。もしインフルエンザ様症状があるような時はすぐに朝日診療所やかかりつけ医にご相談ください。

インフルエンザ様症状

突然の咽頭痛(のどの痛み)・咳を伴う発熱(37.8度以上)・さらに筋肉痛 悪寒(さむけ)・頭痛などを伴うこともある。

榎戸龍蔵院の蔵書と村人の読書

横山氏の書き込みのある「ぶんしやう物語」(寛文11年刊)



江戸時代の只見町域では、その当時流通していた刊本が購入されたり、書籍を借りて写本が作られたりして、読書が行われていたことが明らかになっていきます(『只見町史』第一巻通史編1「書籍の流入と文化」)。江戸時代の書籍を持ち伝えた家の例

として、医家であった原田拓夫家(黒谷)に64冊、修験(法印)吉祥院であった五十嵐英家(只見)に54冊の書籍が所蔵されています。ほかに、只見ダム建設により水没した石伏集落には、38冊、85冊の江戸時代の書籍がありました。それらに比べると、榎戸の修験龍蔵院であった山崎行

弘家に伝存されてきた書籍の数は208点であり、多量です。書籍は文書と違って家や個人に閑らないし、多量だと保管が厄介であるために、処分されることが多かったのです。龍蔵院の蔵書量を、他の修験寺院に押し広げて考えると、只見町の各集落には多くの書籍が存在したことが推測されます。

書籍の書き込みに見る村人

龍蔵院の書籍には、村人と書籍との関わりがうかがえる書き込みが見られます。『ぶんしやう(文章)物語』(寛文十一年(一六七二)松会版)には、「よこやまうし」(横山氏)とあり、『懺悔物語』(刊年未詳)には、「よこやまうし」「文政九六月吉日 小川恵助」「会津伊北小川恵助」と書き込まれています。これらの「よこやまうし」は同筆であり、榎戸の横山氏が所蔵していた書籍であったことがわかります。『庭訓往来』(書写年未詳)には、「メシ ナラ戸邑 左京進」主

榎戸邑 本山 左京の書き込みが先に書かれ、後に「榎戸村横山久作(中略)榎戸村久作より直治(中略)横山氏」と書き込まれています。『万用子供之手遊』(天保三年(一八三二)書写)には、「会津御蔵入伊北黒谷組榎戸村横山門十郎 織之助」と書き込みがあります。この2点は寺子屋の手習い教科書であり、左京は龍蔵院の法印行鶴(一七六九〜一八四二)です。法印が榎戸村の横山久作・直治に書き与えたものや、横山門十郎・織之助が学んだ手習い本が残されたのでしよう。

村人は龍蔵院との間で書籍を貸し借りしたり、譲り譲られたりして、書物を介した交流がありました。仏教談義書の『諸宗宝鑑』(刊年未詳)には、「会津南山榎戸邑横山多蔵」「七くわんうち 横山多蔵 残り三くわん 法印二有」と書き込みがあります。7巻のうちの4巻は横山多蔵、残り3巻は龍蔵院の所にあつたというわけです。神道書の『追考中臣祓瑞穂鈔』(万治二年(一六五九)刊)には、龍蔵院がこの本を所望したので、和泉田

村の弥左衛門が寄贈するという内容の書簡がはさんでありますた。

村人が法印に書籍の購入を依頼することもありました。医師と考えられる宗簡という人物が、龍蔵院の法印が本山修行のため京都に行つた時に、鍼灸の針と『医事或問』(医学書、吉益東洞著、明和六年(一七六九)刊)を買つてきてほしいと依頼する書簡(年未詳)もあります。法印行鶴は、京都に行つた時に買った書籍である『咩字義』(仏教書、刊年未詳)に、「京都寺町通ニテ

求之 乾林堂持用」と記し、『役小角靈驗記』(享保六年(一七二一)刊、五十嵐英家蔵)には、「寛政六年寅三月 京都六角堂前ニ而求之 法印行鶴」と記しています。乾林堂は行鶴の雅号です。彼は26歳の寛政六年(一七九四)三月に、京都から紀州(和歌山県)葛城まで旅をしています。このように、龍蔵院には多くの蔵書があり、寺子屋として手習いが行われていました。「読み」が書室のある村の学舎であったのです。



町民文芸

只見短歌会

七月詠草

大塚栄一

指導

はにかみて声かけくれし隣家の少年いつしか声変りたり

古川 英子

斎藤ちひろ

剪定鋏握りたるまま大空にぽっかり浮ぶ昼の月見上ぐ

目黒 富子

検診の結果を知らず封筒を開ける間際に深き息吐く

五十嵐英子

配達のついでと言ひて妹の店の店員花持ちくれぬ

渡部ゆき子

裏山に巣籠る青鷺の数増えて田の面荒せど捕獲もならず

五十嵐夏美

新聞受けに鈴入れありて朝ごとの優しき音色に心和みぬ

馬場 八智

膝病みし友は畑に腰掛けを置きたるままに手術受けたり

皆川 恒子

口内炎のわれに女孫の買ひくれし薬飲まぬをまた咎めらる

渡部ヨリ子

新盆に遺品の整理も出来ぬ日々重ねて姑の一周忌近し

新国 洋子

朝食後の薬飲みつつ曜日など夫と確かめ合ふこと多し

(出詠順)

只見俳句会

八月例会

目黒十一

指導

声聞けど姿は知らぬ赤しようびん

一 穂

眠る間も食う間も育つ梅雨の草

敦 子

長梅雨や菅笠の紐新しく

すずめばち退治闇夜の黒覆面

礼

しばらくは目で追う部屋の梅雨の蝶

夏鶯駅の向いは鎮守様

修 一

還暦の友を囲みて船料理

戦車のごと天道虫の集まれり

一 灯

図書室にづかづか入る夏帽子

黒揚羽出入り自由に古校舎

又 壱 歩

山壁に霧が流れる夏の朝

苔の花庭にお稲荷様祀り

邦 男

折紙のコマは水色梅雨深む

町の名を川に託して盃蘭盆会

風鈴の音立つまでに風生れず

吉 児

羅や場所を通して砂かぶり

隆 堂

軒廂雨音細き涼しさよ

少年の打球の伸びや雲の峰

邦 夫

道を聞く赤き車のサングラス

快適な暮しや山の風涼し

笑 羊

釣堀や水の流れる家の中

夕日さす脚立の下に梅雨さのこ

康 女

梅雨晴れや少年の丈また伸びし

梅雨晴間傘ふりまわし子らの行く

リウコ

夕焼や明日の仕事残し置く

炎昼や百五の姫葬儀終ゆ

都

横になり又起きている夏の夜

赤いクツ手ぬぐい首にトマトもぐ

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 9月25日までに納めましょう
- 国民健康保険税(3期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)
- 介護保険料(3期)
- 長寿医療保険料(2期)

RECRUITMENT

募集

南会津会職員 採用候補者試験

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等を運営する社会福祉法人南会津会では、次により職員採用候補者試験をおこないます。

- ①南会津郡内に住所を有し、又は採用後南会津郡内に居住することが確実な者
- ②普通自動車一種免許取得者又は平成22年3月31日までに取得見込みの者
- ③次の資格を有する者
 - ア、理学療法士は理学療法士の資格取得者
 - イ、介護職員は、介護福祉士(介護福祉士養成施設を平成22年3月までに卒業する資格取得見込み者を含む)、社会福祉士、介護支援専門員、看護師のいずれかの資格取得者

●試験の日時及び場所

- ①第一次試験
(高等学校卒業程度)
ア、論文試験
イ、面接試験
- ②第二次試験
(第一次試験合格者のみ)

●受験手続及び受付期間等

- ①申込用紙の交付及び請求
申込用紙は、当法人の施設等で交付します。なお、郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、返信用の120円切手を同封し、返信先の住所等を明記のうえ、社会福祉法人南会津会本部事務局に送付してください。
- ②申込用紙の提出
申込用紙に必要事項を記入し、最近6ヶ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向、縦4cm×横3cm)を写真欄に貼って、社会福祉法人南会津会本部事務局に提出してください。
- ③免許証等(写し)の添付
受験資格を確認するため、

▼問い合わせ

社会福祉法人南会津会本部事務局
(南会津郡南会津町田島字西町甲4331)
☎0241-6210054

- 採用予定職種及び採用予定人員
- ◎理学療法士 若干名
- ◎介護職員 若干名
- 採用予定年月日
平成22年4月1日

●受験資格

年齢・学歴は問いませんが、次の各項目に該当することを必要とします。

●試験の方法

- ①第一次試験
ア、一般教養試験

●試験結果の発表

第一次試験の結果について

生活

秋の行政相談週間
県政・行政
合同巡回相談

10月19日(月)～25日(日)の一週間は「秋の行政相談週間」です。

行政相談は、役所(国、県及び市町村)や特殊法人等の仕事に関して、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

只見町では、県政相談委員と行政相談委員による合同巡回相談を次により開催します。

お気軽にご相談ください。

●日時・場所 10月19日(月)

・午前10時～正午

只見地区センター

・午後1時～午後3時

朝日地区センター

●只見町の行政相談委員

原田 美千代さん

黒谷字町496番地の2

☎84-2412

▼問い合わせ

総務企画課総務班

☎0241-8215210

ふくしまデジタル
情報化フェア2009

インターネット、携帯電話、地上デジタル放送等の最先端の情報通信技術等に触れられる展示会、ITに関する最近の動向や身近なITへの取り組みを紹介するプレゼンテーション、国内外の最新の情報通信技術やITの利活用例に関する講演等を行うフェアが開催されます。

●日時 平成21年10月27日(火)

●場所 コラッセふくしま(JR福島駅西口より徒歩3分)

●入場料 無料

▼問い合わせ

福島県高度情報化推進協議会
(県企画調整部情報政策課内)

☎0241-52117134

http://www.fukushima-koudo.jp/

2009就職フェアあいつ

求人事業所 約50社(予定)

日時 9月17日(木)

[面接会] 午後1時～午後4時(予定)

[求職者向け個別相談] 午前10時30分～午後3時30分(予定)

会場 アピオスペース 展示ホール

会津若松市インター西90番地

主催・問合せ先: 会津地域雇用創造推進協議会
電話: 0242-27-8650 http://www.aizu-koyou.com
(個別相談受付、参加企業一覧などの情報を公開)

みでけやれやあ～

～おもしろ野菜を紹介します～

「なすうさぎ」

船木 博さん(黒谷)

8月24日撮影



「イモかいじゅう」

五十嵐 夏美さん(福井)

8月17日撮影



情報提供ありがとうございました。

町長室日誌

〈8月分〉

- 1日 只見町制施行50周年記念式典並びに只見町表彰式・公共施設落成式
水の郷まつり(～2日)
- 3日 電子自治体推進会議
- 4日 国道289号線建設期成同盟会、県内要望会
- 5日 県議会農林水産委員会一行県内調査に来庁、町長との意見交換会及び懇談会
- 6日 会津計算センター臨時協議会
- 7日 会津総合開発協議会、中央省庁要望活動
- 8日 町制施行50周年記念ゲートボール大会
- 10日 6月定例議会8月会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会
- 11日 只見・金山・昭和県道改修促進期成同盟会役員会及び総会
- 13日 庁議
- 15日 只見町成人式
- 16日 河井継之助墓前祭
- 17日 季の郷湯ら里役員会
- 18日 森林総合研究所、杉村氏外1名及び九州大学名誉教授吉田氏来庁、JA会津みなみ支店長外3名来庁、皆川雅舟氏来庁、政策調整会議
- 20日 「雪国ゆめ街道期成同盟会」南会津建設事務所へ要望活動、福祉の里盆踊り大会
- 21日 奥会津5町村活性化協議会、第2回只見川電源流域振興計画策定委員会
- 24日 西部環境衛生組合管理者会及び同議会
- 25日 北陸地方整備局長及び長岡国道事務所長来庁、町長予算査定
南会津地方広域市町村圏協議会第2回定例会
- 26日 郡防災訓練、町長予算査定、只見高校振興対策に関する協議のため只見高校PTA会長、雪椿会長外来庁、新型インフルエンザ緊急対策会議、町政懇談会(朝日地区センター)
- 27日 吉津秀子氏百歳賀寿贈呈式、雪まつり企画委員会、第2回只見高校振興対策会議役員会、町政懇談会(明和地区センター)、町長予算査定
- 28日 へき地医療体験研修(夏期)

国道289号「八十里越」の早期開通実現を!

只見・朝日・明和地区センター運営委員会



3地区センター運営委員会では、国道289号「八十里越」の早期開通を呼びかける看板を各地区センターに設置し、PRしています。

文化財クイズの答え 上から成法寺(イ・ウ・イ・ア)・窪田(アとイ全部)・民具(イ・ア)・大クリ(ウ・イ・ウ)・五十嵐家(イ)・河井記念館(イ・イ)

町民の消息

(8月1日～8月31日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

五十嵐^{まな}愛葉 (女/ 譲・陽子) 只見
 加藤^{まゆ}真優 (女/ 洋介・知香) 只見
 伏見^{えいてつ}英哲 (男/ 正寛・知恵) 梁取
 木津^{ひろと}大翔 (男/ 弘典・美幸) 黒谷
 佐藤^{しょう}翔 (男/ 隆一・香代子) 福井

■ご結婚おめでとうございます

深 沢 佐藤 松義 ♡ キエ子
 (旧姓: 加藤 深 沢)
 只 見 小柴 昌宏 ♡ 里 美
 (旧姓: 増田 小 川)
 二軒在家 星 圭 ♡ 友 美
 (旧姓: 木村 千葉県)

■おくやみ申し上げます

山 井 重 治	79	只 見	見 岐
馬 場 ミツノ	98	塩 ノ	沢 川
小 林 恒 弥	66	布 沢	小 川
増 田 ミ ツ	93	小 沢	二軒在家
佐 藤 龍 一	90	布 沢	生 倉
荒 井 寅 彦	86	蒲 生	大 倉
馬 場 義 弘	76	大 倉	小 林
飯 塚 トヨシ	88	小 倉	黒 谷
佐 藤 律 子	88	黒 谷	榎 戸
菅 家 キミエ	94		
梅 宮 ハル子	86		

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成21年8月1日現在

人 口 5, 041 (-6)
 男 2, 400 (-3)
 女 2, 641 (-3)
 世帯数 1, 895 (-3)
 高齢化率 41.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 3 出生 1 死亡 6

町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員
 渡部 敦子

明和地区センター
 図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★アントキノイノチ



さだまさし著(幻冬舎)

シンガーソングライターさだまさし5作目の書き下ろし小説。高校時代の同級生の卑劣な悪意により、精神を病んだ1人の青年が、自分の「心」と「人生」を取り戻していくまでを描く。作中で重要な役割を担う遺品整理業者には実在のモデルがあり、その温かな眼差しは昨年話題になった『おくりびと』にも通じる。一見コミカルなタイトルの訳も最後まで読めば納得できます。

★奇跡の脳



ジル・ボルト・テイラー

(新潮社)

脳卒中の発症から、その後8年間に及ぶ闘病生活を、克明に生々しく記録した脳科学者の手記。本人の目を通して描かれる脳卒中の進行と回復の様子や、病前病後の脳内の劇的な変化の描写は圧倒的な臨場感にあふれる。巻末の箇条書き「回復のためのオススメ」の一部には育児に重なるところも。著書を献身的に支える母親の姿にも心を打たれます。

★その他子どもたちに大人気「ミツケ！」の新シリーズや、小説、ドキュメンタリーなど、幅広く購入しました。ぜひ読んで!

あとがき

▽全国的に感染が広がるインフルエンザ。気温が高く湿度が上がる時期は比較的流行しないという従来の考え方は消去した方が良いでしょうか。今後、さらに感染の勢いが増しそうです。予防対策を万全に。▽道ばたのススキが目立ち始め、秋の気配が深まりつつあります。スポーツの秋。食欲の秋。芸術の秋。すべての秋が満喫できる様々なイベントが只見では行われます。▽田んぼの稲穂も重みを増し収穫を待ちかねるよう下垂れ下がりました。今年も豊作が期待されます。

盆おどり



※この広報紙は再生紙を使用しています

今年も町内各地域で盛大に行われた「盆おどり」。日々の労働から解放され、みんなで輪をつくり思い思いに踊り続ける一夜。明和地区でも子どもからお年寄りまで、やぐらの周りに集いお盆の夜を踊りで楽しんだ。

イベントカレンダー

9月

●6日(日)

「只見駅前通りウキウキ
わいわいフェスタ」

10月

●17、18日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

会津若松―只見1日1往復」

●11日(日)

「第47回只見町駅伝競走大会」

●31日～11月3日まで

「SL会津只見号運行(予定)」

会津若松―只見1日1往復」

▼毎週日曜日午前8時30分より、午後2時まで、ひんのめえ市を開催。

旬の野菜を販売しています。皆さんも出品してみませんか。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ

只見町観光まちづくり協会

☎0241-18215250

営業時間 午前8時半～午後6時

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています